



# 大久保小だより



平成29年7月20日第5号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関2-1

048(854)7636

男子154名女子124名計278名

学校教育目標 **カいっぱい** **かしこく** **やさしく** **たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

～ 好奇心旺盛なひと ～

校長 相川 光彦

今日で1学期が終了します。運動会やたかつえ少年自然の教室、町たんけん、バスケットボール大会などたくさんの行事がありました。保護者の方の協力で、「いつも元気に大きな声であいさつができる」「明るく仲がいい」と地域の方々からもお褒めの言葉をいただいています。しかし、学習や体力等では課題がありました。特に、“最後まであきらめずに粘り強く取り組む”“持久力”という面で、大久保っ子に力をつけてほしいと願っています。夏休みは、興味のある色々な体験をするチャンスも多くあります。自分の力を信じて、どんなことにも、最後まで粘り強く取り組んでほしいものです。

一般的に学校に通っていたときは、成績で“優秀さ”をはかっていたのですが、心理学者 Howard Garner さんの言葉を借りると、「結局のところ、テストでは一種の知性しか測れない」のだそうです。そこで、子どもたちにつけたい知性を考えるために本当に「知的な人」がもっている6つの特徴を調べてみました。

- 01.よく自分を謙遜する。
- 02.「知らない」ことを隠さない。
- 03.環境が整っていなくてもうまく対応できる。
- 04.好奇心に満ちている。
- 05.人一倍思いやりがある。
- 06.頭脳派の友だちが多い。

ギリシアの哲学者ソクラテスは、「無知の知」という言葉を残しています。何でも自分が一番で、知らないことがないと思っている人には、あまり知性を感じませんね。

「〇〇がないからできない」

「△△があれば、上手くできるのになあ」などとなげきだるい人もいます。今ある環境の中で、最善を尽くすことができるってかっこいいですね。

私が、一番大切だと思っていることが「好奇心」です。世の中知らないことばかり、面白いことがいっぱいです。毎日が、発見です。大人になるとなくなってしまうことではありません。好奇心旺盛な大人に接することで、子どもの好奇心は、膨らんでいきます。好奇心を支えるのは、「感動する心」です。「すごい」「どうなっているのだろう」と色々なことに興味をもち、調べたり話し合ったりすることで、好奇心は満たされ、知性につながっていきます。夏休みに出かけることもあると思います。体験や見学をとおして「好奇心」と「感動する心」が満たされるといいですね。

大久保小の子どもたちは、本当にやさしくて思いやりがあります。知的な人になる1つの要素をもっています。

夏休みは、子どもたちにとって危険なことも多くあります。地域の皆様の見守りをよろしくお願いします。

休みが長いと生活のリズムが乱れ、心と体の健康を損なってしまうことになります。毎日やることを決め、規則正しい生活に心がけましょう。

これからも、「明日も学校に行きたい」と思える大久保小のために私たち教職員も保護者と力を合わせて、『やればできる』を合言葉に子どもたちのよさを引き出し、「ほめて伸ばす教育」を推進して参ります。よろしくお願いします。